



広報

## 生物多様性&地球温暖化対策特集号

お問い合わせ 環境課  
環境政策係、環境保全係  
kankyou@city.inagi.lg.jp



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>  
公式ツイッター [http://twitter.com/inagi\\_city](http://twitter.com/inagi_city)  
メール配信サービス（登録される方は、左のQRコードから、または「inagicity@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください）

市役所(代表) ☎042-378-2111  
平尾出張所 ☎042-331-6346  
若葉台出張所 ☎042-350-6321  
開庁時間 午前8時30分～午後5時



▲ふれんど平尾の太陽光発電パネル

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 ☎042-377-4781



# 目をむけてみませんか？身近な自然・生きもの

## —“カエル”から見た稲城市の生物多様性—

### “生物多様性”ってなに？

「生物多様性」とは、私たち人間を含む地球上にいる生物の生息環境（生態系）、種、遺伝子が、多種多様であることです。私たちの暮らしは、食べものや着るもの、精神的な癒しも含めて、豊かな自然環境の存在によって支えられており、多種多様な生きものが暮らせる自然環境は、私たちが生存する基盤となっています。

私たちにとっても、多くの生きものにとっても重要な「生物多様性」は、温暖化や開発、外来種の侵入などによって、危険信号がともっており、世界中が「生物多様性」を守る取り組みを進めています。

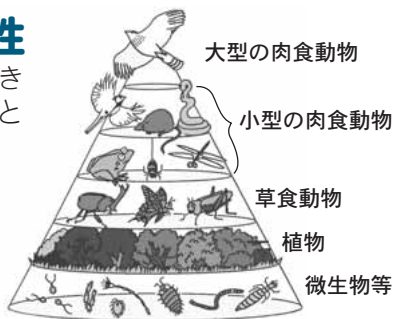
稲城市でも、平成26年度末策定に向けて「（仮称）稲城市生物多様性地域戦略」の検討を進めています。

### “カエル”から見た稲城市の生物多様性

稲城市では、平成25年度から26年度にかけて、市内の生きもの調査を行いました。その調査結果の中からカエルを例として、市の生物多様性の今について、見てみましょう！

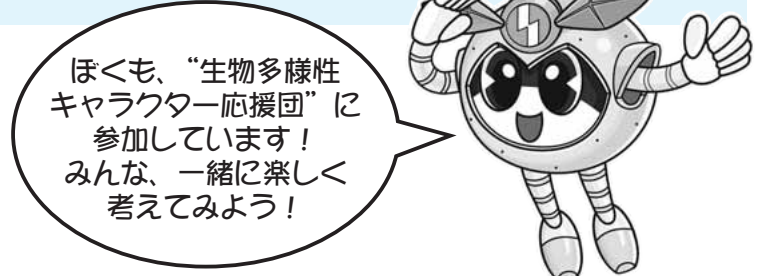
### 自然環境の“目じるし”

カエルは、虫やクモなどを食べている一方、鳥やほ乳類、ヘビなどの餌となる小型の肉食動物です（右図参照）。鳥のように飛べないため、生息・産卵場所である水辺、樹林、草地等の分断・消失によって影響を受けやすく、環境の状況・変化を知る“目じるし（指標）”となります。



「食べる・食べられる」つながり＝生態系ピラミッド

図：（公財）日本生態系協会



7種のカエルがいるってどういうことなの？

多くのカエルが確認されたということは、それらが生息できる多様な環境が残されているということです。カエルという同じような環境に暮らしているイメージもありますが、左図のように種によって好む環境は少しずつ違います。多様な種が生息するためには、多様な自然環境があること、つながっていることが必要です。

たくさんの種が確認されているなら、特に心配することはないのかな？

たくさんのカエルが確認されましたが、次のような「心配」があります。

**<心配①>生息数や生息地が減っている！**  
確認された7種のカエルのうち、アズマヒキガエルとウシガエルを除く5種は、東京都のレッドデータリスト（保護上重要な野生生物種：南多摩エリア）に選ばれており、特に数が減っているカエルです。今回の調査でも、確認された個体数や場所は限られていました。

**<心配②>確認されなかった種がいる！**  
今回の調査で確認できなかった「ニホンアカガエル」は、平地の水田や樹林が好きな種です。生息環境が少なくなったことによって、数が少なくなったと推測されます。

**<心配③>元々いなかったカエルが確認されている！**  
稲城市に元々生息していなかった「ウシガエル」が確認されています。ウシガエルは、地域の生態系を壊してしまうおそれがある生きものとして、法律で「特定外来生物」に指定されています。



### 稲城市に生息するカエルたち



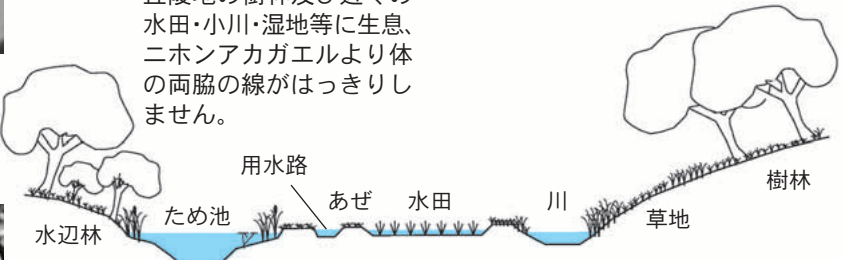
**ニホンアマガエル**  
※  
水辺の植物上や樹林に生息



**ヤマアカガエル**  
※  
丘陵地の樹林及び近くの水田・小川・湿地等に生息、ニホンアカガエルより体の両脇の線がはっきりしません。



**ニホンアカガエル**  
※  
平地の草地・樹林及び水田・湿地に生息、今回の調査では確認されませんでした。



**ツチガエル**  
水田・溪流等に生息、水中の泥中で越冬



**トウキョウダルマガエル**  
平地の水田や池に生息



**シュレーゲルアオガエル**  
水田や樹林に生息、水田のあぜなどに産卵



**アズマヒキガエル**  
※  
樹林・草地に生息

注釈：シュレーゲルアオガエル以外は、水田等の浅い止水域に産卵します。

※写真出典：（公財）日本生態系協会

### イベント参加者募集！

## ファインダーから見えるいなぎの自然



～デジカメ・スマホで生きものを撮ってみよう～

写真撮影を通じて、生きもの暮らしをのぞくとともに、その美しさに近付きます。生きもの写真の撮り方のコツを教えてくださいながら、生きもの不思議な世界に触れられる、お得なイベント！

あなたの感性で、いなぎの自然を切り取ってみませんか？  
お一人でも、お気軽にご参加ください！！

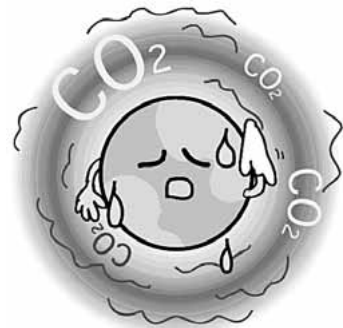
【対象】 市内在住で小学生以上の方（小学3年生までは要保護者同伴）  
【日時】 7月13日（日）午前9時30分～午後0時30分  
【会場】 城山体験学習館視聴覚室 【定員】 30人（申込先着順）  
【持ち物等】 デジタルカメラまたはスマートフォン（必携）  
歩きやすい服装、靴、帽子、タオルなど  
【申込方法】 参加者の住所・氏名・年齢・電話番号を、電話・ファクス・メールのいずれかの方法でお伝えください。  
【申込期限】 定員になり次第締め切ります。  
【申込先・問い合わせ】 環境課環境政策係  
☎378-2111（内線264）  
☎378-3310  
✉kankyou@city.inagi.lg.jp



# 地球のために、みんなのために、続けよう！ 「地球温暖化防止の取り組み」



## 地球温暖化は現実の問題です



現在地球では、人間の活動によって増加した「温室効果ガス」の影響により、地球の温度が上昇してしまう「温暖化」が世界規模で起こっています。

この地球温暖化が進行することにより、砂漠化の拡大や、気温の上昇に耐えられない動植物の絶滅や農産物の生育不順など、多くの問題が起こるものと予想されます。

温暖化の問題は、今すぐ取り組まなければならない課題であり、長く続けていくことが重要です。

楽しく続けられる工夫や、日々の生活の負担にならないような工夫を考えて、一人ひとりに合った環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を目指しましょう。

## 「ライトダウンキャンペーン」にご協力ください

環境省では、2003年より温暖化防止を目的にライトアップ施設や家庭の消灯を呼び掛ける「ライトダウンキャンペーン」を実施しています。

キャンペーンにご賛同いただける方は、ご協力をお願いします。

キャンペーンの詳細については、「ライトダウンキャンペーン」ホームページ(HP <http://funtoshare.env.go.jp/cool-earth-day/>)をご確認ください。

▷期日 夏至=6月21日(土)

クールアース・デー=7月7日(月)

▷時間 両日とも午後8時～10時までの2時間



できることから始めよう！

## 地球温暖化防止プロジェクトin稲城

市では、稲城市民環境クラブとの協働により、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の一環として、様々な地球温暖化対策を実施しています。

地球温暖化の原因には、温室効果ガスのひとつである二酸化炭素の増加が挙げられます。家庭から排出される二酸化炭素は、自家用乗用車からも多く排出されており、アイドリングストップや急加速・急減速を控えるなどにより、燃費を向上させる「エコドライブ」の重要性が高まっています。あなたのちょっとした心掛けが、未来の地球を救います。

### 体験してみよう エコドライブ講習会！

市では多摩ドライビングスクールと連携し、「エコドライブ講習会」を開催しています。教官の指導の下、無料でエコドライブ技術が学べます。エコドライブは安全運転と家計にも優しい一石三鳥の取り組みです！ぜひお申し込みください(申込先着順)。

【受講資格】 日常生活で車を運転される方(ペーパードライバー不可)

【受講条件】 後日、講習会の結果票とアンケートを環境課にご提出いただきます。

【講習会場】 多摩ドライビングスクール(京王線百草園駅より徒歩1分)

【講習内容】 エコドライブの講習と実技教習(合計3時間30分程度)

【受講方法】 環境課に電話でお申し込みください。応募受付後、講習会チケットを郵送しますので、各自で多摩ドライビングスクールに電話で講習日時を予約してください。

【申込先・問い合わせ】 稲城市環境課環境保全係  
☎378-2111 (内線266)

### 広げよう エコドライブの輪！

エコドライブの実践を自己宣言してくださる方を募集しています。自己宣言していただいた方には、ステッカーを差し上げます。

※エコドライバー宣言は、環境に優しい運転方法のほか、車両の管理、交通手段の選択など、10の心掛けに賛同し、できることから実践していただくものです。

【宣言方法】 稲城市エコドライバー宣言書(環境課で配布、市ホームページからもダウンロードできます)を環境課窓口へ持参いただくか、郵送によりご提出ください。

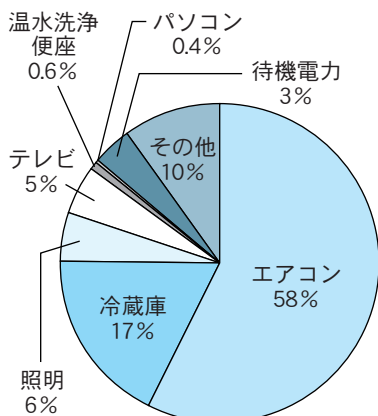
▶エコドライバー宣言者ステッカーです。粘着シールかマグネットのどちらかを宣言者に差し上げます。



## 家庭で！ 職場で！ できることから始めてみよう！ 「節電の取り組み」



### エアコンの使用方法を見直してみよう



【資源エネルギー庁推計】

左の図は、夏の午後2時ごろの在宅世帯における電気機器の消費電力の割合です。

消費電力の大半をエアコンと冷蔵庫が占めていることが分かります。

冷蔵庫は冷蔵温度の設定を「中」や「弱」に変更して節電をすることは可能ですが、電源を切ることは難しいものです。

夏の日中は、消費電力が大きいエアコンの温度を高め設定したり、扇風機を併用する等の工夫をすることが、大きな節電につながります。

### 緑のカーテンや打ち水をやってみよう



緑のカーテンは、つるもの植物を窓辺に育て、夏の日差しを葉っぱに遮ってもらい取り組みです。葉から蒸発する水分がまわりの空気を冷やしてくれる効果もあります。

打ち水は、昔から日本で実践されている庶民の知恵です。

夏の暑い日に地面などに水をまくことで、気化熱がその場の熱を奪い、涼を得られるというものです。

エアコンの使用を上手に減らして、工夫を楽しみながら自然の涼を感じる生活はいかがでしょうか。